

賭博罪ノ一種ノ幫助罪ナリ房屋ト規定ス故ニ船舶車輛ヲ包含スヘシト雖モ土地ヲ包含セス給與トハ有價又ハ無價ノ所有權又ハ使用權ヲ付與スルコトヲ謂フ通説ハ飲食物以外ノ財物ヲ賭シテ博奕ヲ爲ス者ト雖モ其際搜索權アル官吏ニ認知セラレサル者ニ房室ヲ給與シタル行爲ヲ罪トセス本罪ノ刑ハ第三ノ刑ニ同シク第三ニ付キ説明シタル沒收ノ特例モ亦本罪ニ其適用ヲ有ス

第五 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リタル罪 本罪ハ飲食物以外ノ財物ヲ賭シ博奕ヲ爲サシムル爲メ機會ヲ付與シテ利ヲ圖リタル行爲ヲ謂フ機會ヲ付與ストハ必スシモ場所ヲ給與スルコトニアラス利ヲ圖ルトハ必スシモ利ヲ獲タルコトヲ要セス財産上ノ利得ヲ獲ル方法手段ヲ實施スルヲ以テ足レリトス本罪ノ刑ハ主刑トシテ三月乃至一年ノ重禁錮附加刑トシテ十圓乃至百圓ノ罰金トス

第六 博徒ヲ招結スル罪 博徒トハ賭博ヲ常業トスル者ヲ謂ヒ招集トハ集團セシムルコトヲ謂フ故ニ自然ニ結團シタルトキハ招結者ナルモノナシ本罪ノ刑ハ第五ノ刑ニ同シ

第七 富籤ヲ興行シタル罪 富籤ニ依リ利益ヲ僥倖スル行爲ハ廣義ノ博奕ノ一

種ニシテ利得ヲ獲ル目的ヲ以テ偶然ノ輸贏ヲ爭フ行爲ナレトモ其普通ノ博奕ト區別スルハ單ニ左ノ二點ニ在リトス

一 富籤ニ依リ輸贏ヲ決定スル點 富籤トハ直接ニ利得ヲ獲ヘキ記號ト一致スル記號ヲ有スル物ニシテ博奕者カ有價的ニ所持スヘキヲ謂フ故ニ財物ヲ醜集セス無償ニテ分與シタル物ハ富籤ニアラス但物ノ買主等カ無償ニテ分與セラレタル物ハ有價的ニ所持シタルモノトス又博奕者ノ所有ニ歸スルコトヲ要セスト雖モ少ナクトモ其所持ニ屬スヘキ物ニアラスハ富籤ニアラス又直接ニ利得ヲ獲セシムヘキ物ニシテ其記號ト一致スル記號ニ原因シテ間接ニ利得ヲ獲セシムヘキ物ニアラスハ富籤ニアラス但上述ノ性質ヲ有スル物ナリセハ其名稱、材料又ハ記號ノ何タルヤヲ區別スル必要ナシ

二 雙務契約ヲ現出スル點 富籤ニ依ル博奕ニ在リテハ博奕者ハ無條件即チ絶對的ニ給付ノ義務ヲ負擔シ興行者ハ條件附ニテ即チ例ハ富籤ナリシ場合ノミニ於テ全部又ハ一部ノ反對給付ヲ爲スヘキ義務ヲ負擔ス 富籤ニ依リ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル行爲トハ富籤ニ依リ財物ヲ賭

シタル博奕ヲ開張スル行爲即チ富籤ヲ分與シテ條件附ニ給付ノ義務ヲ負擔スル行爲ヲ謂フ刑法ハ業ヲ興行シタル者ト規定ス是レ營利的ニ此種ノ博奕ヲ開張スルヲ謂フノ意ニ過キサレヘシ而シテ所謂「チーハー」カ富籤ナルヤ又ハ狹義ノ賭博ナルヤハ異説アル所ナルモ余ハ寧ロ賭博ナリト信ス而シテ本罪ノ刑ハ主刑トシテ一月乃至六月ノ重禁錮附加刑トシテ五圓乃至五十圓ノ罰金トス刑法典上罪トスルハ博籤ニ依リテ財物ヲ賭シタル博奕ヲ興行シタル行爲ノミナルモ別ニ富籤賣買者處斷方アリテ富籤ニ關シ種々ノ行爲ヲ罪ト規定シタリ

第八 禮拜所ニ對シ公然不敬ノ行爲ヲ爲シタル罪及説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル罪 禮拜所トハ神祠佛堂墓所其他ヲ謂ヒ余ハ外教ノ教會ヲモ包含スルモノト解ス而シテ不敬ノ行爲トハ必スシモ名譽ヲ傷害スル行爲ノミナラス其體面ヲ傷害セル爲行ヲモ謂フコト勿論ナリトス而シテ公然不敬ノ行爲ヲ爲シタル罪ニ對シテハ二圓乃至二十圓ノ罰金ヲ科シ妨害ヲ爲シタル罪ニ對シテハ四圓乃至四十圓ノ罰金ヲ科ス

第七章 死屍ヲ毀棄シ及墳墓ヲ發掘スル罪及其刑

死屍ヲ毀棄シ及墳墓ヲ發掘スル罪及其刑

本章ニ規定シタル罪ノ未遂ハ之ヲ罰ス

第一 埋葬スヘキ死屍ノ毀棄罪 毀棄トハ其埋葬スヘキ死屍ト規定シタルヨリ推理スレハ主トシテ埋葬セサル行爲ヲ謂ヒ之ヲ傷害シタルト否トヲ問ハサル如シ死屍ハ埋葬スヘカラサルモノナカルヘキモ刑法ノ意ハ法令又ハ契約上解剖又ハ火葬ヲ許サレタル死屍等ヲ除外スルニ在リシナルヘシ本罪ノ刑ハ主刑トシテ一月乃至一年ノ重禁錮トシ附加刑トシテ二圓乃至二十圓ノ罰金トス

第二 墳墓發掘罪 本罪ハ結果罪ニシテ墳墓ヲ發掘スル行爲ヲ爲シ因リテ棺槨若ハ死屍ヲ見サシメタル事實又ハ死屍ヲ毀棄シタル事實ニ關ス故ニ墳墓ヲ發掘スト雖モ上述ノ事實ヲ生セサルトキハ少ナクモ本罪ハ成立セス而シテ死屍ヲ毀棄スル犯意ニ依リ墳墓ヲ發掘シテ死屍ヲ毀棄シタル行爲ニ付テハ多少ノ異説アルヘシト雖モ尙ホ因テ死屍ヲ毀棄シタル罪ヲ以テ論スヘキカ如シ本罪ノ刑ハ因リテ棺槨又ハ死屍ヲ見サシメタル場合ニ於テハ主刑トシテ二月乃至二年ノ重禁錮附加刑トシテ三圓乃至三十圓ノ罰金トシ因リテ死屍ヲ毀棄シタル場合ニ於テハ主刑トシテ三月乃至三年ノ重禁錮附加刑トシテ五圓乃至

刑法各論 本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑 死屍ヲ毀棄シ及 三七五
墳墓ヲ發掘スル罪及其刑 商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪及其刑

五十圓ノ罰金トス

第八章 商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪及其刑

商業及農工ノ業ヲ妨害スル罪及其刑

第一 暴行脅迫又ハ欺罔ニ依リ公衆ノ利益ニ關スル物ノ賣買ヲ妨害シタル罪
 其公衆ノ利益ニ關スル物ノ賣買ニ關セサルヘカラサルコトハ本編題目ノ默示
 スル所ニシテ偽計トハ他人ヲ欺罔スル手段ヲ謂ヒ威力トハ暴行又ハ重大ナル
 脅迫ヲ謂フ而シテ其物品カ公衆ノ需用スル食料タルトキハ情狀重キ罪ナリト
 ス後段ノ罪ニ對シテハ主刑トシテ一月乃至六月ノ重禁錮附加刑トシテ三圓乃
 至三十圓ノ罰金ヲ科シ前段ノ罪ニ對シテハ後段ノ罪ニ對スル刑ヨリ一等ヲ減
 輕シタル刑ヲ科ス

第二 暴行脅迫又ハ欺罔ニ依リ公私ノ競賣又ハ競争入札ヲ妨害シタル罪 刑法
 ハ糶賣ト云フト雖モ要スルニ法令ニ依ル競賣又ハ任意ノ競賣ヲ包含スヘシ入
 札ト規定スト雖モ本編ノ題目ヨリノ推理上多衆ノ入札ト解セサルヲ得サルヘ
 シ本罪ノ刑ハ主刑トシテ十五日乃至三月ノ重禁錮附加刑トシテ二圓乃至二十
 圓ノ罰金トス

第三 暴行脅迫又ハ欺罔ニ依リ農業又ハ工業ヲ妨害シタル罪 本罪ノ刑ハ第三
 ノ罪ニ對スル刑ニ同シ

第四 報酬ヲ増加若ハ減少スル目的又ハ農工業ノ景氣ヲ變更セシムル目的ヲ以
 テ暴行脅迫又ハ欺罔ニ依リ農工業ニ關スル勞働者カ資本主又ハ他ノ勞働者ヲ
 妨害シ若ハ農工業ニ關スル資本主カ他ノ資本主又ハ勞働者ヲ妨害シタル罪
 前段ノ罪ハ所謂同盟罷工行為ニ關ス本罪ノ刑ハ主刑トシテ一月乃至六月ノ重
 禁錮附加刑トシテ三圓乃至三十圓ノ罰金トス

第五 虛偽ノ事實ヲ傳播セシメテ公衆ノ需用物ノ價格ヲ變更セシメタル罪 虛
 偽ノ事實ハ傳播以外ノ手段ニ依リ價格ヲ變更セシメタル行為ハ本罪ニアラス
 而シテ本罪ノ刑ハ十圓乃至百圓ノ罰金トス

第九章 官吏瀆職ノ罪及其刑

第一節 總說

廣ク瀆職罪ト謂フトキハ凡テ公務ニ從事スル者カ其義務ニ違背シテ犯シタル罪
 ヲ包含スト雖モ現時ノ國法上ニ於テハ唯官吏及法令ニ依リ刑法上官吏ト同一視

官吏瀆職ノ罪及其刑
總說

刑法各論 本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑
官吏瀆職ノ罪及其刑 總說

スヘキ者カ其義務ニ違背シテ犯シタル罪ノミニ限定セラル而シテ瀆職罪中唯官吏及法令ニ依リ刑法上官吏ト同一視スヘキ者ノミニ付キ罪ト爲ルヘキ行爲ニ關スルモノヲ純瀆職罪ト謂ヒ一私人ニ付キテモ罪ト爲ルヘキ行爲ニ關スルニ拘ラズ官吏及法令ニ依リ刑法上官吏ト同一視スヘキ者カ犯シタルトキハ情狀重キ罪ト爲ルヘキ行爲ニ關スルモノヲ準瀆職罪ト謂フ

瀆職罪ハ普通刑法及特別刑法ニ於テ規定セラル

第一 普通刑法ニ於ケル瀆職罪 刑法典ニ於テハ瀆職罪ノ大部分ハ本章ニ規定セラルト雖モ尙ホ囚徒逃走ノ罪(一四八)公務ヲ行フヲ拒ム罪(七一七)官印偽造罪(九七項)官文書偽造罪(五二〇)免狀鑑札ヲ偽造スル罪(二二四)公選ノ投票ヲ偽造スル罪(三三五)及阿片烟ニ關スル罪(九三)トシテ規定セラル

第二 特別刑法ニ於ケル瀆職罪 郵便法、電信法及鐵道營業法ハ郵便、電信、電話ノ事務ニ從事スル者及鐵道係員(官吏又ハ官吏ト同視スヘキ者以外ノ者ヲモ含ム)ニ特別ナル瀆職罪ヲ規定シ所謂瀆職法ハ法律ニ依リ選舉又ハ任用シタル議員、會員、委員又ハ總代カ其職務ニ關シ收賄シタル罪ヲ規定シタリ

官吏公益ヲ害スル罪及其刑

第二節 官吏公益ヲ害スル罪及其刑

第一 官吏其職務上公布且施行スヘキ法令ヲ公布且施行セサル罪及官吏他ノ官吏カ職務上法令ヲ公布且施行スルコトヲ妨害シタル罪及其刑 主權者即チ天皇ハ官吏ニアラサルヲ以テ職務上法令ヲ公布且施行スヘキ官吏又ハ官吏ト同視スヘキ者トハ則チ内閣總理大臣、閣令(各省大臣、省令)道廳長官、府縣知事、警視總監(廳令、府縣令)郡長、島司、支廳長(郡令、島廳令、支廳令)市町村長、市町村條例其他訓令ヲ發スヘキ上級ノ官吏又ハ官吏ト同視スヘキ者等ナリトス而シテ施行ニハ公文式及地方官廳ノ發スル命令公布式ニ依レハ特ニ其期日ヲ指定スル場合及當然施行セラル、場合トノ區別アリ得ヘシ本罪ノ刑ハ主刑トシテ二月乃至六月ノ輕禁錮、附加刑トシテ十圓乃至五十圓ノ罰金トス而シテ本罪ハ事實上容易ニ之ヲ犯シ難キ結果其適用稀少ナルハ當然ニシテ刑法施行以來本罪ノ違反者ナキモノ、如シ

第二 出兵ヲ要求又ハ使用スル權アル官吏兵力ヲ要スル際之ヲ要求又ハ使用セサル罪及其刑 刑法ハ兵隊ヲ要求シ及之ヲ使用スル權アル官吏ト謂フ故ニ或

刑罰各論 本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑 官吏瀆職ノ罪及其刑 官吏公益ヲ害スル罪及其刑

ハ第七十七條ト同様要求シテ使用スル者アル官吏ノ義ニ解スル者アリト雖モ以テ刑法カ要求以外ニ使用ナル語句ヲ補充シタル事實ノ真意ヲ氷解セシムルニ足ラス予ハ要求ノ權アル官吏トハ第七十七條ニ於ケル如ク判事、檢事、司法警察官、府縣知事、道廳長官ヲ謂フモノトシ使用ノ權アル官吏トハ用兵ノ事ヲ掌ル參謀總長、陸軍大臣又ハ海軍軍令部長、海軍大臣等ナリトス但陸海軍ノ將校カ上官ノ命ヲ受クルニ拘ラス兵力ヲ使用セサルトキハ陸海軍刑法ノ違反罪ト爲ルヘシ本罪ノ刑ハ主刑トシテ三月乃至三年ノ輕禁錮、附加刑トシテ二十圓乃至百圓ノ罰金トス

第三 官吏商業ヲ營ミタル罪及其刑 官吏服務規律ハ同第十七條ニ依リ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ヲ有スルモノニシテ同第十一條ニハ官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニアラサレハ直接ト間接トヲ問ハス商業ヲ營ムコトヲ得スト規定シ市制(五)町村制(八)北海道區制(三)北海道一級町村制(二)其他ニ依レハ市町村長、北海道ニ於ケル區長、一級町村長其他モ亦內務大臣、府縣知事、道廳長官、郡長、支廳長其他ノ許可ヲ得ルニアラスハ營業ニ從事スルコトヲ得ス

ト規定ス本罪ノ刑ハ二十圓乃至五十圓ノ罰金トス

第三節 官吏人民ニ對スル罪及其刑

官吏人民ニ對スル罪及其刑

第一 官吏其職務ニ附隨スル威力ヲ濫用スルニ依リテ他人カ爲スヘキ權利ヲ有セサル行爲ヲ爲サシメ又ハ他人カ爲スヘキ權利アル行爲ヲ爲スヲ妨害シタル罪及其刑 本罪ノ刑ハ主刑トシテ十一月乃至二月ノ輕禁錮、加附刑トシテ二圓乃至二十圓ノ罰金トス本罪ニ關シテハ其權利ナキ事ナル語句ヲ官吏カ爲サシムヘキ權利ナキ事ト解スル見解アリト雖モ其爲スヘキ權利ナル語トノ比較上妥當ナラス

第二 行政警察官吏カ身體財產ヲ傷害スル罪ノ犯人アリトノ通告ヲ受理シタルニ拘ラス保護ヲ爲サル罪及其刑 刑法ハ豫審判事檢事ヲモ規定シ又單ニ警察官吏トアルヲ以テ司法警察官吏ヲモ包含セシムルモノ、如シト雖モ此種ノ者ハ少クトモ現時ニ於テハ純タル司法機關又ハ其補助機關ニシテ司法ノ目的ハ非違ヲ鎮壓スルコトニ在リ危害ヲ豫防シ公衆ヲ保護スルコトニアラス行政警察規則第一條ニ依レハ人民ノ凶害ヲ豫防シ安寧ヲ保全スルハ行政警察事項

刑法各論

本論ニ重罪、輕罪及其刑、公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑、官吏職務ノ罪及其刑、官吏人民ニ對スル罪及其刑

タルコトハ明ニシテ同第四條ニ依レハ行政警察豫防ノ力及ハスシテ法律ニ背ク者アルトキハ其犯人ヲ探索逮捕スルハ司法警察事項ナルコト明ナリトス本罪ノ刑ハ主刑トシテ十五日乃至三月ノ重禁錮附加刑トシテ二圓乃至二十圓ノ罰金トス

第三 拘束ヲ爲ス權限ヲ有スル官吏人ヲ逮捕又ハ監禁シタル罪及其刑 拘束ヲ爲ス權限ヲ有スル官吏トハ所謂逮捕官吏即チ判事、檢事、司法警察官、巡查、憲兵上等兵及司獄官吏即チ典獄、警察署長、警察分署長、看守長、看守、警部、巡查ヲ謂フ而シテ逮捕トハ要スルニ一時的ニ拘束ヲ加フルコトニシテ監禁トハ比較的長時間内拘束ヲ加フルコトナルハ擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪ニ付キ述ヘタル所ニ同シ而シテ正當ニ爲シタル監禁ト雖モ當然其監禁ヲ解クヘキ場合ニ於テ之ヲ解カサルトキハ爾後不法ノ監禁タルヘキコト勿論ニシテ其解カサル者カ司獄官吏タルト又ハ所謂逮捕官吏タルトヲ區別セス本罪ノ刑ハ主刑トシテ十五日乃至三月ノ重禁錮附加刑トシテ二圓乃至二十圓ノ罰金トシ監禁ノ場合ニ於テハ其日數十日ヲ過クル毎ニ一等ヲ加フヘキモノトス

第四 拘束ヲ爲ス權限ヲ有スル官吏又ハ囚人ヲ護送スル者囚人ニ對シ苛刻ノ行爲ヲ爲シタル罪及其刑 囚人ヲ護送スル者ハ必スシモ官吏又ハ官吏ト同視スヘキ者タルコトヲ必要トセス但官吏續職罪中ニ此規定ヲ設クル可否ハ別問題ナリ刑法ハ囚人ト謂フ囚人トハ監獄則ニ依レハ刑事被告人及懲治人ニ相對スル語句ナリト雖モ之ヲ囚徒ト同一意義ニ解スルヲ妥當トス而シテ飲食衣服ノ屏去ハ苛刻ノ行爲ノ一例示ナリトス本罪ノ刑ハ主刑トシテ三月乃至三年ノ重禁錮附加刑トシテ四圓乃至四十圓ノ罰金トス而シテ本罪ヲ犯ス結果トシテ囚人ヲ死去又ハ傷害ニ致シタルトキハ毆打創傷ノ各本條ノ刑ニ一等ヲ加ヘタルモノトス本罪ノ刑トヲ比較シ重キ刑ヲ科シタル罪トシテ之ヲ處斷ス

第五 典獄、警察署長、警察分署長又ハ此種ノ者ノ命ヲ受ケタル官吏變異ノ際傷害ノ犯意又ハ過失ニ依リ囚人ノ監禁ヲ解カサリシ結果之ヲ死去又ハ傷害ニ致シタル罪及其刑 監獄則第九條ニハ水火風震等非常ノ變災ニ際シ監獄園内ニ於テ避災ノ手段ナシト考定スルトキハ典獄ハ其狀況ニ依リテ在監ノ囚人、懲治人及刑事被告人ヲ他所ニ押送シ其災ヲ避ケシムヘシ若シ押送スルノ途ナキトキ

ハ一時之ヲ解放スルコトヲ得ト規定ス而シテ此規定ハ固ヨリ警察署内ノ留治場ニ在ル囚人ニ付テハ警察署長及警察分署長ニモ其適用ヲ有ス本罪ノ刑ハ毆打創傷罪ニ對スル刑ニ一等ヲ加ヘタル刑トス而シテ本條ノ語句ハ過失ニ依リ犯ス場合ノミニ關スル如シト雖モ其刑ヨリ推斷スレハ犯意ニ依リ犯ス場合ニモ關スル如シ而シテ犯意ニ依リ犯ス場合ニモ關スト解スルコト妥當ナルヘシト雖モ之ヲ殺害ノ犯意ニ依リ犯ス場合ニ開張スルコトハ語句及刑ノ權衡ヨリ論スルモ立法論上ヨリ論スルモ凡テ不當ナリトス

第六 判事、檢事又ハ警察官吏被告人ヲ拷問シタル罪及其刑 拷問トハ犯罪事實ヲ通告セシムル爲メ暴行其他苛刻ノ行爲ヲ爲スコトヲ謂フ本罪ノ刑ハ主刑トシテ四月乃至四年ノ重禁錮附加刑トシテ五圓乃至五十圓ノ罰金トス而シテ本罪ヲ犯シタル結果被告人ヲ死去又ハ傷害ニ致シタルトキハ毆打創傷ノ各本條ノ刑ニ一等ヲ加重シタルモノト本條ノ刑トヲ比較シ重キ刑ヲ科シタル罪トシテ之ヲ處斷ス

第七 檢事カ告訴、告發、自首其他ノ通告ヲ受理セス若ハ受理シタル通告ニ付キテノ審判ヲ遲延シタル罪及判事カ民事又ハ刑事ノ訴訟ヲ受理セス若ハ受理シタル訴訟ニ付キテノ審判ヲ遲延シタル罪並ニ其刑 受理セストハ所謂受付サル場合ヲ謂ヒ不受理ノ言渡等ヲ爲ス場合ヲ謂ハス而シテ民事ノ訴訟中ニハ非訟事件、人事訴訟事件、戶籍法ニ關スル事件其他凡テ民事部ノ管轄ニ屬スル事件ヲ包含シ刑事ノ訴訟中ニハ私訴ヲモ包含ス而シテ檢事ノ審理ハ廣ク各般ノ搜索處分ニ關スト雖モ其判定ハ唯起訴、不起訴ノ處分ノミニ關ス本罪ノ刑ハ主刑トシテ十五日乃至三月ノ輕禁錮附加刑トシテ五圓乃至五十圓ノ罰金トス

第八 收賄罪及其刑 收賄罪トハ官吏又ハ刑法上之ト同視スヘキ者カ賄賂ヲ聽許シ又ハ收受シタル行爲ニ關ス賄賂トハ官吏又ハ之ト同視スヘキ者ノ特定ノ職務行爲ニ關シテ交付スル實質上ノ利益ヲ謂フモノニシテ

1 官吏又ハ之ト同視スヘキ者ノ職務ニ關シ交付シタルモノナラサルヘカラス故ニ職務以外ノ行爲ニ關シテ交付シタルモノ就任前將來ニ於テ有スヘキ職務ニ關シテ交付シタルモノ又ハ解職後既往ニ於テ有シタル職務ニ關シテ交付シタルモノ、如キハ賄賂ニアラス且特定ノ事件ヲ未タ管轄スルニ至ラ

刑法各論

本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑 官吏瀆職ノ罪及其刑 官吏人民ニ對スル罪及其刑

スト雖モ現ニ同種ノ事件ヲ管轄スヘキ權限ヲ有シ且將來ニ於テ必然之ヲ管轄スヘキ狀況ニ在ル場合ニ於テ其職務ニ關シ交付ヲ受ケタルモノハ之ヲ賄賂ナリトス

2 職務ニ關シ反對給付トシテ特ニ將來ニ於テ爲スヘキ職務上ノ行爲ニ對スル反對給付トシテ交付シタルモノニアラスンハ賄賂ニアラス換言スレハ賄賂トハ職務行爲ヲ原因トシテ其原因ニ基ク結果トシテ交付シタルモノナラサルヘカラス故ニ職務行爲ナ^クト雖モ交付スヘカリシモノヲ交付シタルトキハ賄賂ニアラス獨逸刑法學者間ノ通説ニ依レハ其職務行爲ハ將來ニ於テ爲サルヘキモノナルト現在ニ於テ爲サレツ、アルモノナルト又ハ過去ニ於テ爲サレタルモノナルト間ハスト爲スニ在リ然レトモ吾刑法ノ解釋トシテハ此見解ヲ採用スル餘地ナキニハアラサルカ是レ收賄罪ノ各本條ニハ概ネ因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ云々ト規定スルヲ以テ自ラ事前ノ收賄ヲ規定シタルコトヲ推知シ得ヘキノミナラス刑法第二百八十四條ニハ明ニ人ノ囑託ヲ受ケト規定ス事後ノ收賄ニ於テハ人ノ囑託ヲ受ケタルコト不能ナルヘケレハナリ

3 特定ノ職務行爲ニ關シテ交付シタルモノニアラスンハ賄賂ニアラス但之ヲ特定スル方法ハ明示タルト默示タルトヲ區別セス又特定シタル行爲ハ一個ナルト同種又ハ異種ノ一團ノ行爲ナルトヲ區別セス義務ニ違背シテ爲ス行爲ナルト義務ニ遵由スル行爲ナルトノ區別セス又作爲ナルト不作爲ナルトヲ區別セス而シテ社會普通ノ禮儀ニ基ク相當ノ贈物ノ如キハ概ネ特定ノ職務行爲ニ關シテ交付スルモノニアラサルヲ以テ賄賂ニハアラサルヘシ

4 實質上ノ利益ニアラスンハ賄賂ニアラス而シテ實質上ノ利益ハ凡テ賄賂ナリトス此點ニ關スル賄賂ノ性質ニ付テハ學者間ニ異説アリ

(イ) 凡テノ利益ニ關スト爲ス見解 此見解ニ依レハ單純ナル身分上ノ利益モ名譽上ノ利益モ將又官歴上ノ利益モ亦賄賂タルヘシ

(ロ) 財産上ノ利益ノミニ關スト爲ス見解 賄賂トハ法律上ノ狀況ヲ改善スヘキ利益ノミヲ謂フト爲ス見解モ亦此見解ノ一分派ナリト爲スヲ得

(ハ) 實質上ノ利益ニ關スト爲ス見解 此見解ノ中ニモ二様ノ區別ヲ爲サ、

刑法各論 本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑 官吏濫職ノ罪及其刑 官吏人民ニ對スル罪及其刑

ルヲ得ス

甲 一時的ノ實質上ノ利益ヲ包含スト爲スモノ 一時的ノ實質上ノ利益

トハ實質上ノ利益ナリト雖モ一時的ニ消失スヘキ性質ノモノヲ謂フ

乙 一時的ノ實質上ノ利益ヲ包含セスト爲スモノ 語句ノ沿革ニ依レハ

賄賂トハ單ニ有體物即チ動産及不動産ニ關スル如シト雖モ余ハ實質上

ノ利益ニ關スト爲シ一時的ノ利益ヲモ包含セシムル見解ヲ可トス

收受トハ直接又ハ間接ノ方法ニ依リ現實ニ利益ヲ享受シタル作用ヲ謂フ而シ

テ間接方法ニ依ル收受トハ特定ノ職務行爲ヲ爲シタル者カ結局自己ニ利益ヲ

歸セシムヘキ者ヲシテ其利益ヲ享受セシメタルコト其職務行爲ヲ爲シタル者

ノ扶助スル者ヲシテ其利益ヲ享受セシメタルコト其他ナリトス聽許トハ要ス

ルニ將來ニ於テ收受センコトヲ約諾スル作用ナリ而シテ收受又ハ聽許ハ共ニ

收賄者ノ發議ニ因リタルト又ハ贈賄者ノ發議ニ因リタルトヲ區別セスト雖モ

收受又ハ聽許以外ノ行爲ハ之ヲ罪ト爲サ、ルヲ以テ收賄者ノ收賄ノ發議即チ

賄賂ノ要求アリタリトスルモ其結果トシテ收受又ハ聽許スルニ至ラストセハ

少ナクトモ收賄罪ハ成立セサルヘシ

收賄罪ニ共通スル規定ハ左ノ二トス

一 賄賂ノ沒收ニ關スル規定 凡テ收受シタル賄賂ハ其全部ヲ沒收ス但收受シタルト雖モ既ニ費用シタルトキ又ハ單ニ聽許シタルニ止ルトキハ事實上沒收スルコトヲ得ス

二 賄賂ノ價格ノ追徵 事實上沒收ヲ爲スコトヲ得サル賄賂中單ニ聽許シタルニ止ルトキハ之ヲ不問ニ付スト雖モ收受後既ニ全部又ハ一部ヲ費用シタル場合ニ於テハ其費用シタル金額若ハ其費用シタル賄賂ヲ金錢ニ見積リタル價格ヲ追徵スヘキモノトス追徵ハ司法處分ナリト雖モ刑ニアラス是レ刑名中追徵ナル名稱ヲ缺如スレハナリ

壹 裁判官民事部ノ管轄ニ屬スル事件ノ審理又ハ裁判ニ關シ賄賂ヲ收受又ハ聽許シタル罪及其刑 刑法ハ裁判官ト謂フト雖モ其民事ノ裁判ト謂フ以上ハ判事及領事ノミニ關シ行政裁判所評定官、特許局審判官其他ヲ包含セサルコト明ナリ刑法ハ民事ノ裁判ト云フト雖モ民事事件、商事事件、人事訴訟事件

刑法各論

本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑 官吏濫職ノ罪及其刑 官吏人民ニ對スル罪及其刑

非訟事件、戶籍法違犯事件、當選訴訟事件ニ關スル審理手續及其判定ニ關スルコト勿論ナルヘシ本罪ノ刑ハ主刑トシテ二月乃至二年ノ重禁錮附加刑トシテ五圓乃至五十圓ノ罰金トス而シテ本罪ヲ犯シタル者カ犯意ニ依リ義務ニ違背シ不法又ハ不當ノ裁判ヲ爲シタルトキハ一等ヲ加重シタル刑ヲ科ス

貳 裁判官、檢事又ハ司法警察官吏刑事事件ノ審理又ハ裁判ニ關シ賄賂ヲ收受又ハ聽許シタル罪及其刑 本罪ニ付キ裁判官トハ判事、領事及樺戶監獄典獄又ハ之ニ代ルヘキ官吏(明治十五年第十六號布告)ヲ謂フ本罪ノ刑ハ主刑トシテ二月乃至二年ノ重禁錮附加刑トシテハ五圓乃至五十圓ノ罰金トス本罪ヲ犯シタル者カ

1 犯意ニ依リ被告人ヲ曲庇シタルトキハ主刑トシテ三月乃至三年ノ重禁錮附加刑トシテ十圓乃至百圓ノ罰金ヲ科ス

2 犯意ニ依リ被告人ヲ陷害シタルトキハ

(イ) 主刑トシテ二年乃至五年ノ重禁錮附加刑トシテ二十圓乃至二百圓ノ罰金及

(ロ) 所謂反坐刑ノ中比較的的重キ刑ヲ科ス

參 其他前二項ノ場合以外ニ於テ官吏又ハ之ト同視スヘキ者カ賄賂ヲ收受又ハ聽許シタル罪及其刑 本罪ニハ判事、檢事及司法警察官吏カ所謂民事事件又ハ刑事事件ノ審理又ハ裁判以外ノ職務ニ關シ收賄シタル行爲ヲモ包含スヘシ本罪ノ刑ノ主刑トシテ一月乃至一年ノ重禁錮附加刑トシテ四圓乃至四十圓ノ罰金トス而シテ本罪ヲ犯シタル者カ義務ニ違背シ不法又ハ不當ノ處分ヲ爲シタルトキハ一等ヲ加重シタル刑ヲ科ス

第九 所謂枉法罪 枉法罪トハ收賄罪ノ成立セサル場合ニ於テ裁判官、檢事又ハ司法警察官吏カ刑事被告人ヲ曲庇若ハ陷害シタル行爲ニ關シ其曲庇又ハ陷害ノ原因ハ愁恨ナルト又ハ其他ノ私情ナルトヲ區別セサルコト勿論ナリ本罪ノ刑ハ貳ノ收賄罪ニ對スル刑ニ同シ

第四節 官吏財産ニ對スル罪及其刑

本節ニ記載シタル罪ヲ犯シ當然又ハ減輕シテ輕罪ノ刑ニ處セラレタル者ニハ六月乃至二年ノ監視ヲ科ス

官吏財産ニ對スル罪及其刑

刑法各論

本論 重罪、輕罪及其刑 公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑 官吏職務ノ罪及其刑 官吏財産ニ對スル罪及其刑

第一 監守盜罪及其刑 本罪ハ官吏又ハ刑法上官吏ト同視スヘキ者カ職務トシテ保管スヘキ動産ヲ横領シタル行爲ニ關ス横領トハ上述シタル如ク他人ノ物ヲ自己ノ物ト爲ス行爲ヲ謂ヒ費消及私人トシテノ自己ノ所持内ニ遷移セシムル行爲ハ勿論之ヲ所持内ニ遷移セシメスト雖モ之ヲ自己ノ物ト爲ス行爲ヲ包含ス刑法ニ所謂金穀物件トハ委託物費消罪ニ付キ述ヘタル如ク單ニ動産ノミヲ指稱スルモノニシテ金錢ハ勿論木材家具印紙其他ノ物件ヲ包含ス而シテ職務上ノ保管トハ勿論法律上ノ權限内ノ保管ニシテ官吏又ハ之ト同視スヘキ者カ事實上保管スル作用ヲ包含セスト雖モ(1)職務上受領ノ權限アルトキハ常ニ法律上ノ權限内ノ保管義務ヲ生スルモノト解スヘク(2)直接所持シテ保管セスト雖モ法律上其保管ヲ監督スヘキ職務ヲ有スルトキハ之ヲ法律上ノ權限内ノ保管ト爲スヘシ而シテ獨逸刑法學者間ノ通説ハ官吏又ハ之ト同視スヘキ者カ事實上受領シタル物ニ付テモ亦監守盜罪成立スト論スルカ如シト雖モ我刑法ノ解釋トシテハ採用シ難キ見解ナリトス本罪ノ刑ハ輕懲役トス而シテ本罪ヲ犯ス際官文書ヲ偽造變造シ又ハ毀棄シタルトキハ管掌文書ヲ偽造變造又ハ毀

棄シタル罪トシテ之ヲ處斷ス

第二 公ノ入額ヲ徵收スヘキ職務ヲ有スル官吏又ハ刑法上之ト同視スヘキ者カ正數外ノ入額ヲ徵收シタル罪及其刑 公ノ入額トハ國稅府縣稅市町村稅其他諸般ノ稅額手數料額使用料額又ハ賦課徵收スヘキ現品其他ヲ謂フ入額ノ正數ハ法令又ハ府縣會ノ議決市町村會ノ議決其他ニ依リテ定ルヲ以テ法令又ハ議會ノ議決ニ依リ徵收スヘカラサル額又ハ徵收スヘキ額ヨリ多數ノ額ヲ徵收シタルトキハ本罪ハ成立ス徵收シタル行爲トハ自ラ國家又ハ地方自治團體ニ徵收セントシテ之ヲ徵收シタルヲ謂フ故ニ徵收ニ著手シタリト雖モ徵收ヲ了セサルトキハ本罪ノ未遂ニシテ本罪ハ輕罪ナルニ拘ラス其未遂ヲ罰スル明文ナキヲ以テ少ナクトモ本罪トシテハ無罪タルヘク又自身之ヲ取得セントシテ取得シタル行爲ハ當然欺罔騙取罪ト本罪トノ法律ノ競合ト爲ルヘシ本罪ノ刑ハ主刑トシテ二月乃至四年ノ重禁錮附加刑トシテ五圓乃至五十圓ノ罰金トス

違警罪及其刑

第一部 違警罪及其刑

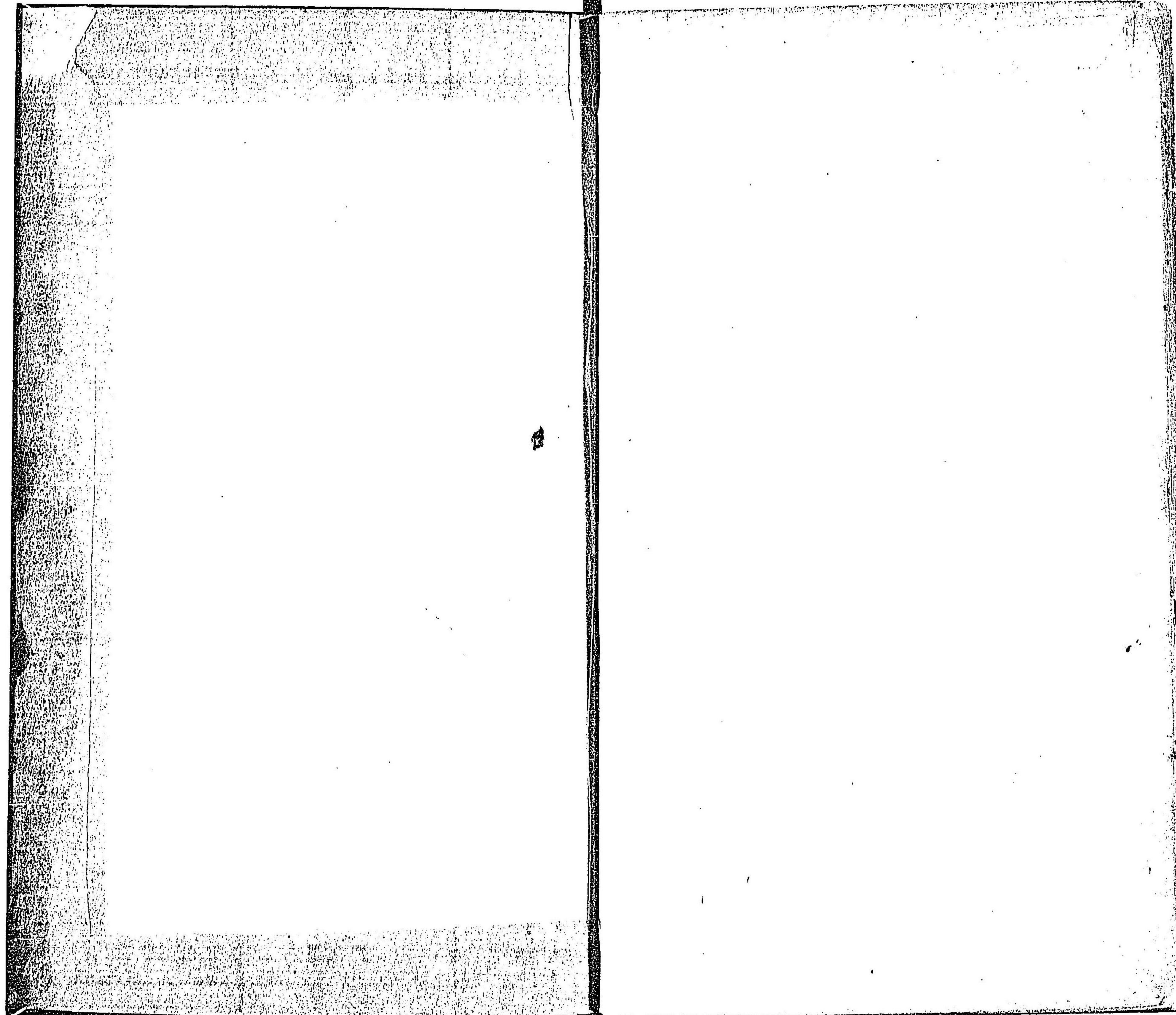
違警罪トハ重罪及輕罪ニ相對スル語ニシテ重罪及輕罪ヲ刑事上ノ不法ト云フト

刑法各論

本論 重罪、輕罪及其刑、公益ニ關スル重罪、輕罪及其刑、官吏瀆職ノ罪及其刑、官吏財產ニ對スル罪及其刑、違警罪及其刑

キハ之ニ相對シテ警察上ノ不法ト云フ或ハ曰ク權利ヲ傷害スル罪ハ刑事上ノ不法ニシテ權利ヲ傷害セサル罪ハ警察上ノ不法ナリト或ハ曰ク事物ヲ傷害スル罪ハ刑事上ノ不法ニシテ事物ニ危險ヲ生セシムル罪ハ警察上ノ不法ナリト或ハ曰ク警察規則ニ違背スルニ因リテ罪タルモノハ警察上ノ不法ニシテ不法自體ニ因リテ罪タルモノハ刑事上ノ不法ナリト或ハ曰ク即決例ニ依リ處分スルコトヲ得ル罪ハ警察上ノ不法ニシテ裁判所ノミニ依リ裁判セシムヘキ罪ハ刑事上ノ不法ナリト然レトモ是等ノ區別ノ標準ハ皆誤レリト云ハサルヘカラス二者ノ區別ハ極テ曖昧ニシテ殆ト之ヲ明確ニシ難キノミナラス之ヲ區別ストスルモ刑法上何等ノ實益ナシ或ハ曰ク刑事上ノ不法ハ重要ナル法制ヲ傷害スル罪ニシテ警察上ノ不法ハ重要ナラサル法制ヲ傷害スルモノナリト或ハ曰ク刑事上ノ不法ハ法律上ノ效用ヲ有シ警察上ノ不法ハ形式上ノ效用ヲ有スト是等ノ學說ハ稍事物ノ正鵠ヲ得タルモノト云フヘク二者ノ眞正ノ區別ハ刑事上ノ不法ハ主トシテ實質的ノ效用ヲ有シ警察上ノ不法ハ第一次ニ形式的ノ效用第二次ニ實質的ノ效用ヲ有スルニアラサルナリ

第四百二十五條乃至第四百二十九條ノ罪ニ關スル說明ハ之ヲ省略ス



此書係
一
國
商
朝
藏

ス

13ヶ

035649-000-3

ス-13ヶ

刑法各論

谷野 格/述

M39?

BBP-0204



入
134



書

書

中央大學三十九年度
法律科第一學年講義錄

刊

行

野

格